

- 1) 日 時 2020年7月14日（火） 13:00～14:30
 2) 場 所 YICビジネスアート専門学校 2階 講堂
 3) 出席者 11名

溝部 直子	保護者代表	国際ホテル・ブライダル学科 保護者
富田 祥司	職能団体（ITエンジニア学科）	株式会社ピージーシステム 人事総務部 部長
古谷 雅之	企業関係者 （国際ホテル・ブライダル学科）	株式会社 山口グランドホテル 常務取締役総支配人
天津 昇次	企業関係者（医療事務学科）	社団法人 山口県病院協会 事務局長
兼重 顕治	企業関係者（医療事務学科）	医療法人 協愛会 阿知須共立病院 事務部経営企画室人材開発グループリーダー
中野 園子	企業関係者（ペット総合学科）	山口県獣医師会の会員獣医師 なかの動物病院 副院長
田邊 元久	高校関係者	学校法人三田尻学園 誠英高等学校 教頭
中川 達也	学校代表者	本校 校長
飯田 直樹	学校機能評価委員	本校 事務長
河津 道正	学校機能評価委員	本校 副校長
福本 一雅	学校機能評価委員	本校 教務課長補佐

欠席者 水津敬太（卒業生代表）、重村 奈津枝（企業関係者Webビジネス学科）
 中川 徳弘（企業関係者パティシエ学科）、岡村 昭男（高校関係者）

4) 議 事

校長挨拶

1. 2019（令和元）年度の自己点検評価結果について
2. 企業連携・社会貢献について
3. その他

コロナ禍における各業界の求人状況、高等学校の動きについて（情報交換）

2021年4月 学校名変更の経緯説明

1. 2019（令和元）年度の自己点検・評価結果について

- ・配布資料の確認
- ・学校関係者評価委員会の目的について説明
- ・項目の重要度ランクおよび評価基準についての説明
- ・2019（令和元）年度の自己点検・評価結果について項目ごとに説明し、前回からの改善点を報告
特筆点（委員の方より意見）

「2 教育内容」コロナ禍でのオンライン授業における課題設定・評価項目方法を、
従来型（登校型）授業とは別に、定めた方が良いのではないかと

「5 学生支援」新修学支援制度やコロナ禍での緊急奨学金採用など奨学金の種類が増えたので、
経済支援制度を細分化して公開・評価した方が良いのではないかと

「8 財務 6 固定資産管理規定が文書化されているか」が×をつけた理由説明

「法人が一括して資産管理台帳を管理しているので、学校単独では管理台帳はない
また、資産管理台帳はあるが、その規定はない。
よって×をつけた」

結果、自己点検・評価結果を出席委員全員が了承

- ・オンライン授業における課題設定・評価項目方法・導入効果を今年度検証し次年度委員会にて報告

2. 企業連携・社会貢献について

- ・各学科における活動内容を報告し、今年度の活動も継続して実施予定

3. その他（情報交換）

コロナ禍における各業界の求人状況、高等学校の動きについて

<高等学校>

- ・全体では2週間のオンライン授業を行った。
学生家庭での視聴環境調査や教材づくり、教員の機器の操作習熟が大切であった
- ・個別対応の学生として、基礎疾患があり感染予防から登校できない学生もいた
授業再開後に5月病にも似た登校したくないという学生もいた
- ・7月から公開された求人は思ったほど、減っていない。
学校推薦数が1社あたり3～4名だったところが1社1名程度になった。

<保護者>

- ・自粛期間中の当初は、なれなくてダラダラしていた。
オンライン授業だけでなく、授業課題を郵送していただき、それが良かった
アナログな面も残してほしい

<IT業界>

- ・オンライン会社説明会が増えた。直接対面説明会では一度に多くの学生と話ができしたが、
オンラインでは、一度に3名ほど
- ・オンライン面接では、自宅から接続しているので、リラックスしているようだ
オンライン面接のソフトや機器の接続ができない方は、それだけでマイナス評価
オンラインと直接面接で選択できる場合、直接面接を選択した学生の方が意欲が高いと評価する

<ホテル業界>

- ・現状では求人活動に変わりはない。しかし、第2波が来た場合には、壊滅的である

<医療・病院業界>

- ・今までとそこまで変わりはない
受付につくまでに、検温・感染地域への渡航歴・かぜ症状の有無を確認
- ・受付で予約をして、自家用車で待合、診察後は速やかに帰宅されているので、
売店の売り上げは減っている。
肌感覚で、来院する方が減っている（ちょっとした発熱では病院には来なくなった）

以上